

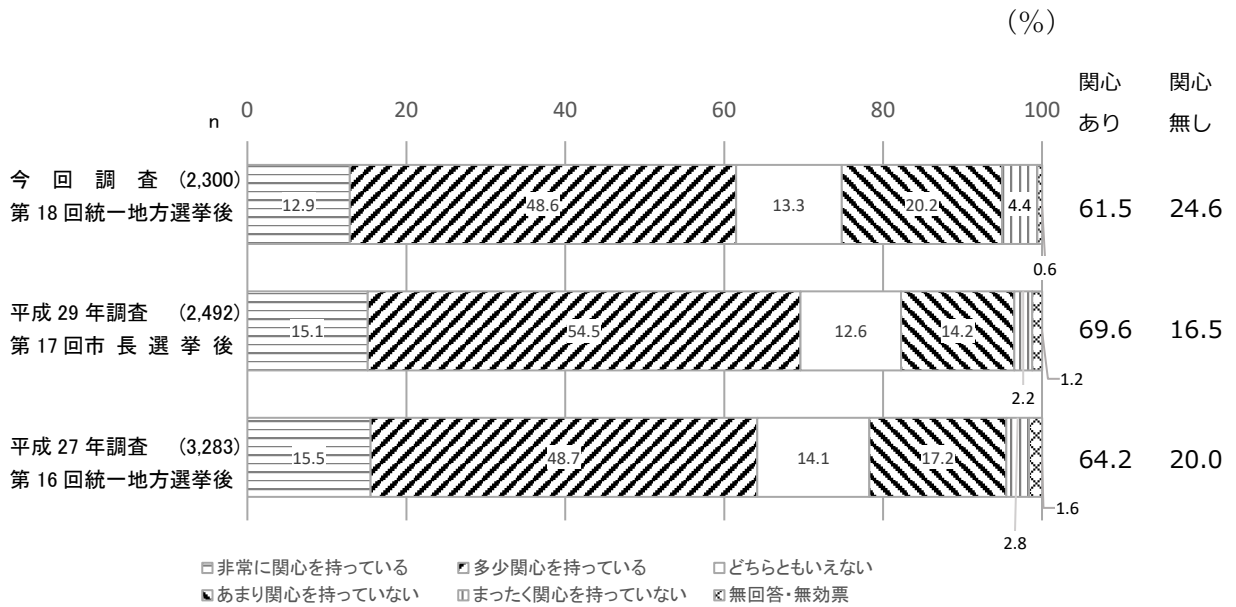
Ⅲ 政治意識

1 市政への関心

◇ 横浜市政に関心を持っている人は61.5%

問4 あなたは、横浜市政(横浜市の政治や行政)に、どの程度関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

図表Ⅲ-1-1

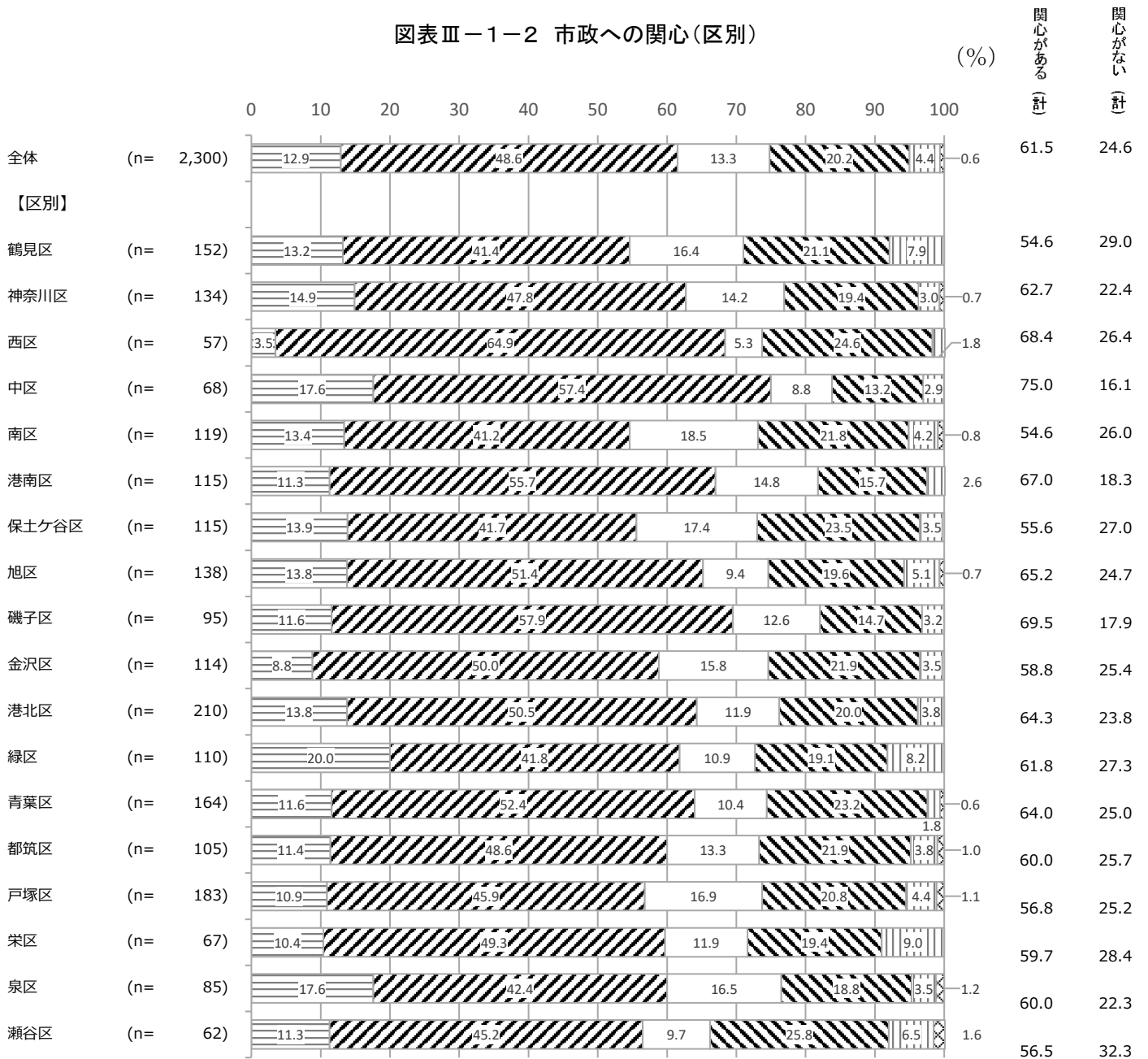


横浜市政への関心について聞いたところ、「非常に興味を持っている」(12.9%)と「多少興味を持っている」(48.6%)を合わせた『関心がある(計)』は61.5%となっている。一方、「あまり興味を持っていない」(20.2%)と「まったく興味を持っていない」(4.4%)を合わせた『関心がない(計)』は24.6%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)及び平成29年調査(第17回市長選挙後)と比較すると、『関心がある(計)』(61.5%)は減少し、『関心がない(計)』(24.6%)は増加している。

区別にみると、『関心がある(計)』は、中区が75.0%で最も多く、次いで磯子区(69.5%)、西区(68.4%)、港南区(67.0%)、旭区(65.2%)になっている。一方、『関心がない(計)』は、瀬谷区(32.3%)が3割を超えている。(図表Ⅲ-1-2)

図表Ⅲ-1-2 市政への関心(区別)

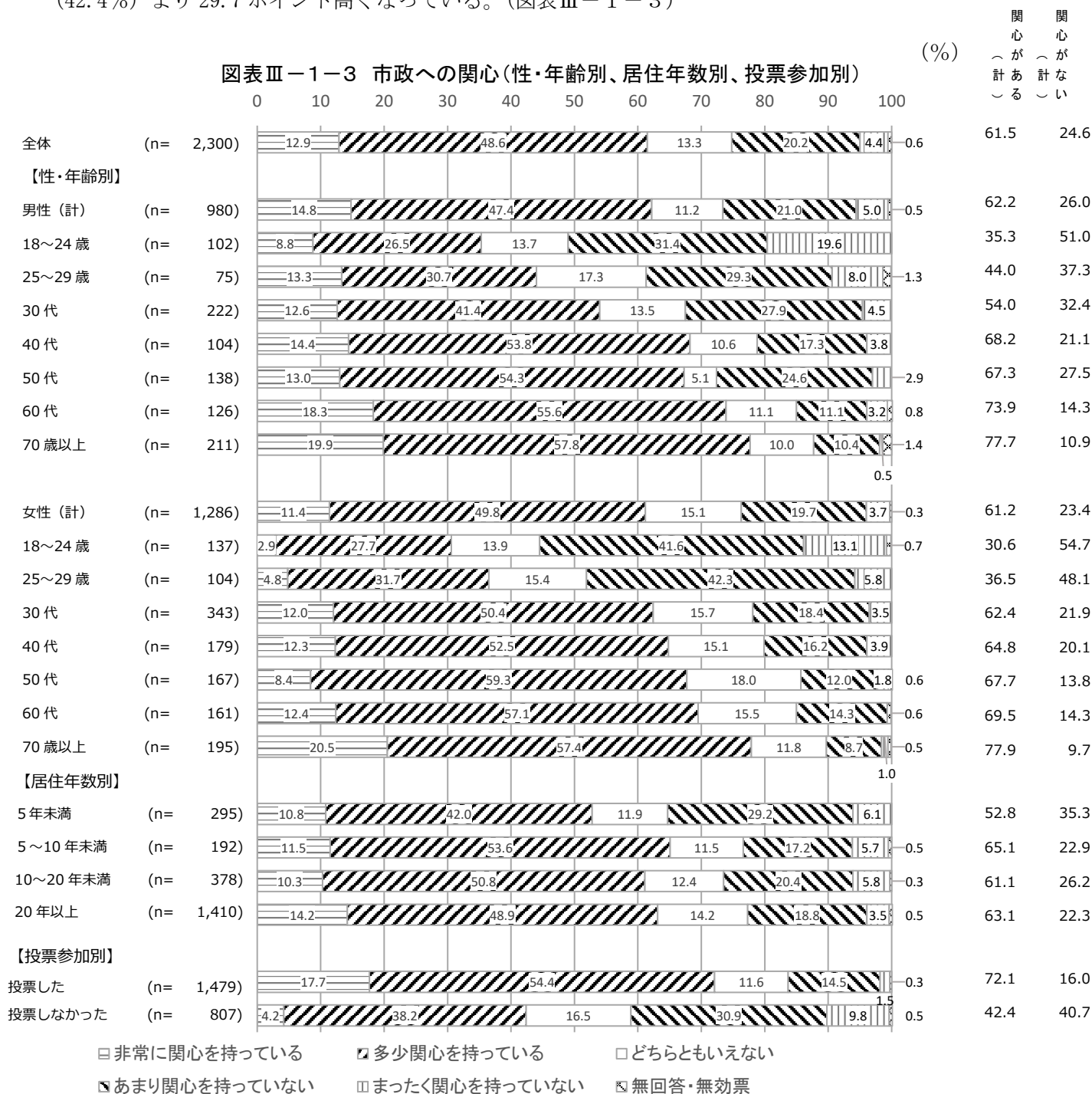


□非常に興味を持っている ▨多少興味を持っている □どちらともいえない
 ▩あまり興味を持っていない □まったく興味を持っていない ▨無回答・無効票

性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は、男女ともおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向があり、男女ともに70歳以上で7割5分を超えている。一方、『関心がない（計）』は、18～24歳で「男性」（51.0%）、「女性」（54.7%）と男女ともに多くなっている。（図表Ⅲ－1－3）

居住年数別にみると、『関心がある（計）』は、居住年数が「5年未満」以外は6割を超えているが、「5年未満」のみ52.8%と6割を下回っている。（図表Ⅲ－1－3）

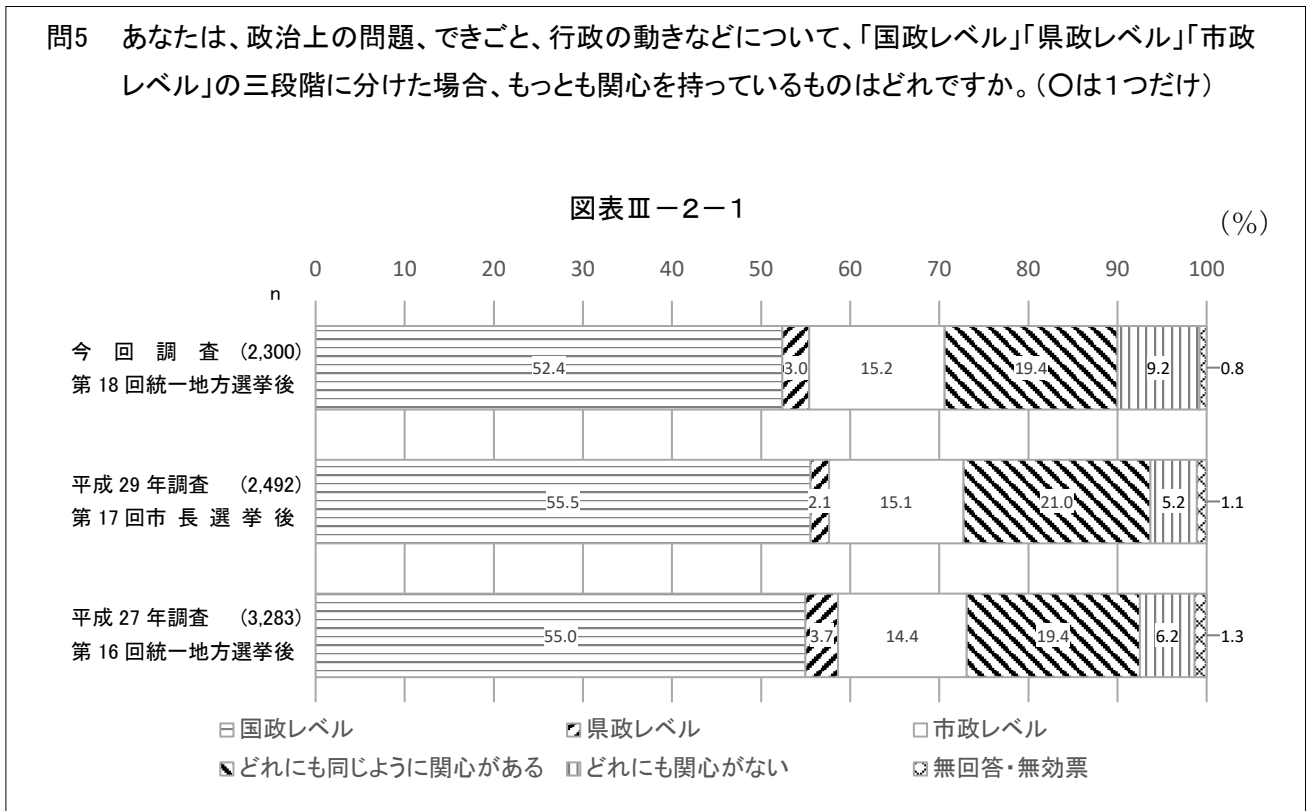
投票参加別にみると、『関心がある（計）』は、「投票した人」（72.1%）の方が「投票しなかった人」（42.4%）より29.7ポイント高くなっている。（図表Ⅲ－1－3）



2 政治関心レベル

◇「国政レベル」への関心が52.4%

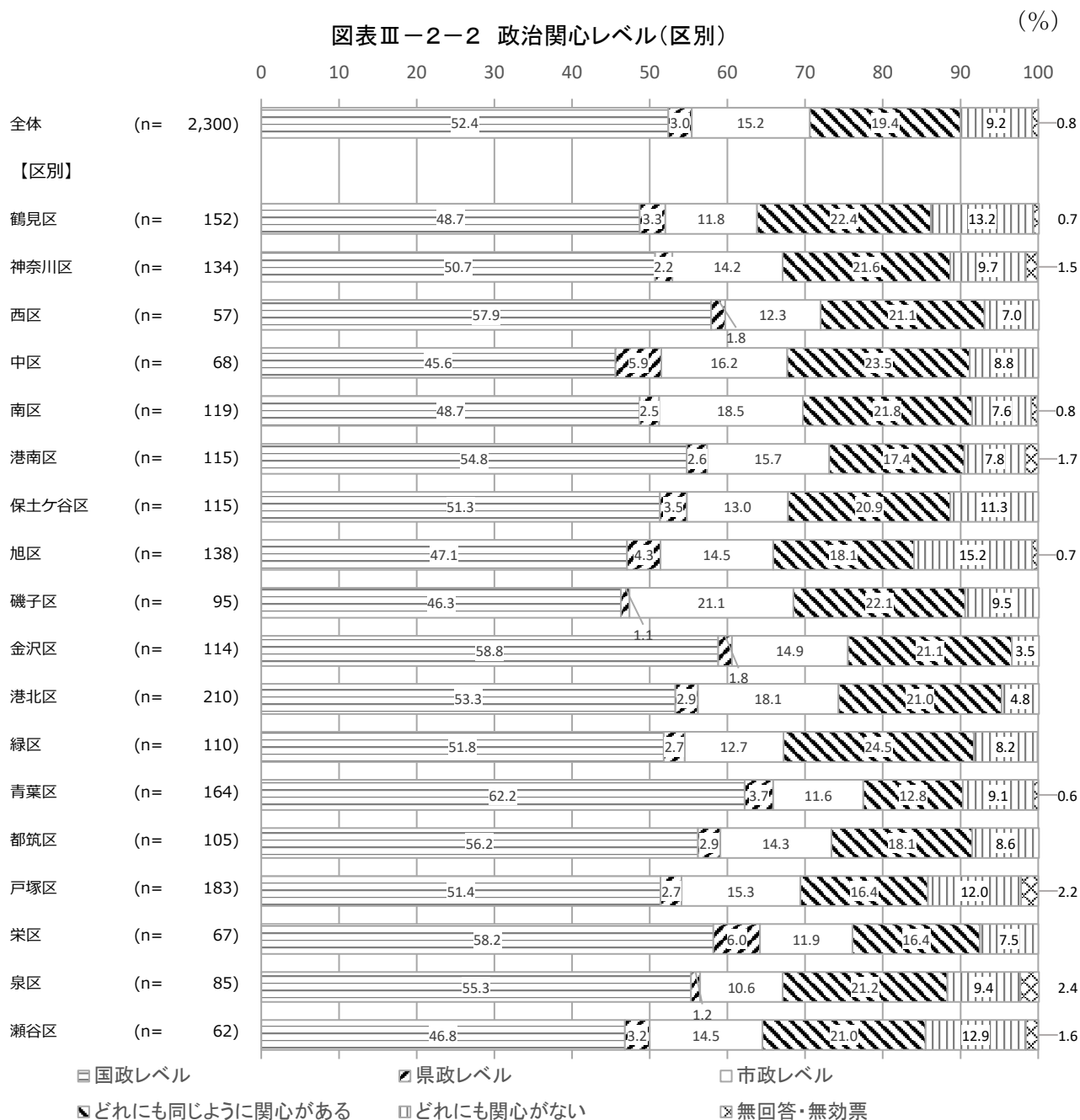
問5 あなたは、政治上の問題、できごと、行政の動きなどについて、「国政レベル」「県政レベル」「市政レベル」の三段階に分けた場合、もっとも関心を持っているものはどれですか。(〇は1つだけ)



政治上の問題、できごと、行政の動きなど、どのレベルに最も関心を持っているかについて聞いたところ、「国政レベル」が52.4%で最も多く、次いで「市政レベル」(15.2%)、「県政レベル」(3.0%)の順となっている。また、「どれにも同じように関心がある」が19.4%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)及び平成29年調査(第17回市長選挙後)と比較すると、「国政レベル」では減少、「市政レベル」では増加している傾向が見られる。(図Ⅲ-2-1)

区別にみると、「国政レベル」は青葉区が 62.2%と最も多く、金沢区（58.8%）、栄区（58.2%）と続いている。「市政レベル」は磯子区（21.1%）で2割を超えて多くなっている。「どれにも同じように関心がある」は緑区が 24.5%と最も多く、中区（23.5%）、鶴見区（22.4%）と続いている。（図表Ⅲ－２－２）

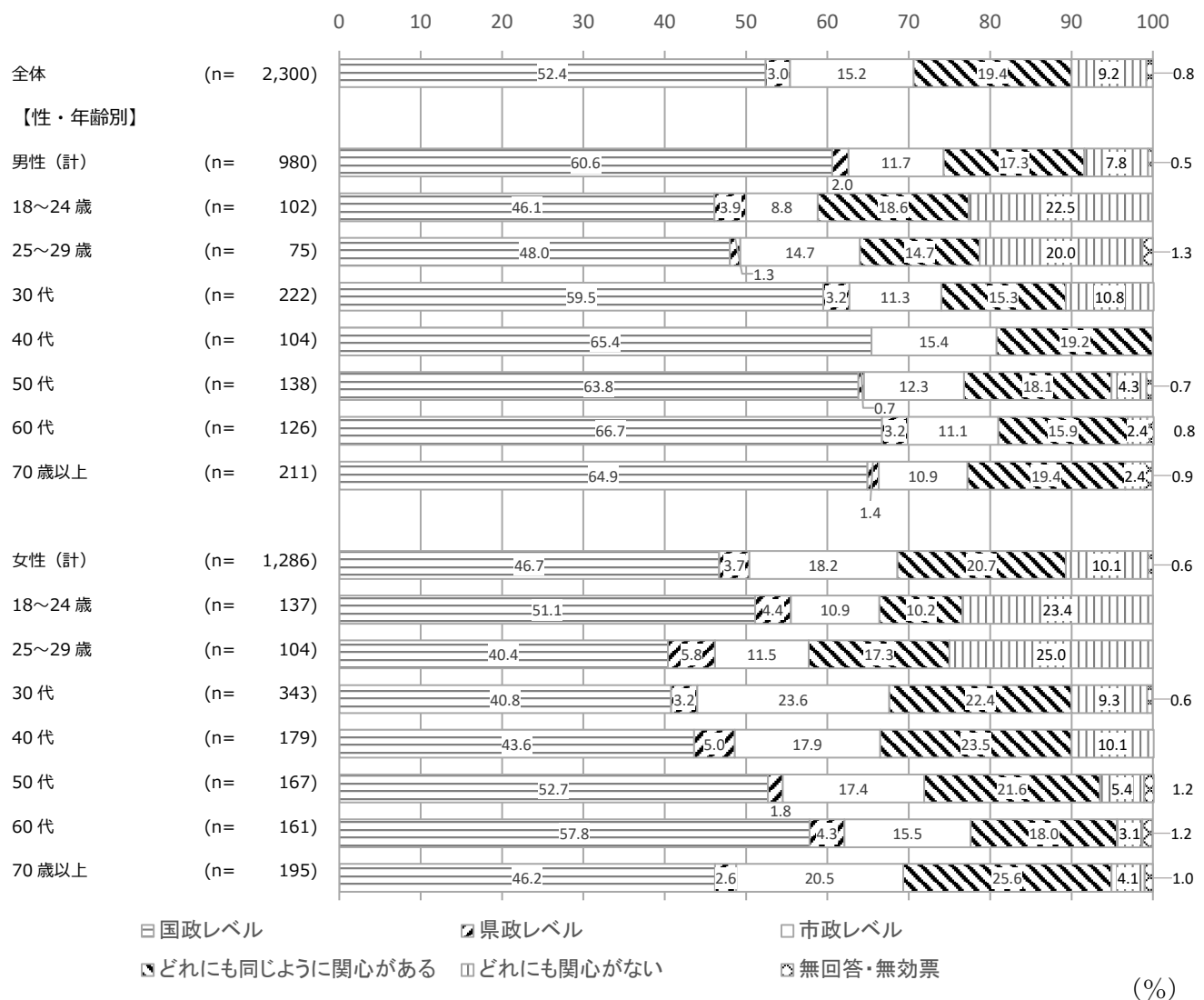


性・年齢別にみると、「国政レベル」は男性（60.6%）の方が女性（46.7%）より13.9ポイント高く、特に男性の60代（66.7%）で高くなっている。女性でも60代が57.8%で最も高くなっている。（図Ⅲ-2-3）

投票参加別にみると、「どれにも関心がない」は投票しなかった人（17.0%）の方が投票した人（4.8%）より12.2ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-2-3）

(%)

図表Ⅲ-2-3 政治関心レベル(性・年齢別、投票参加別)

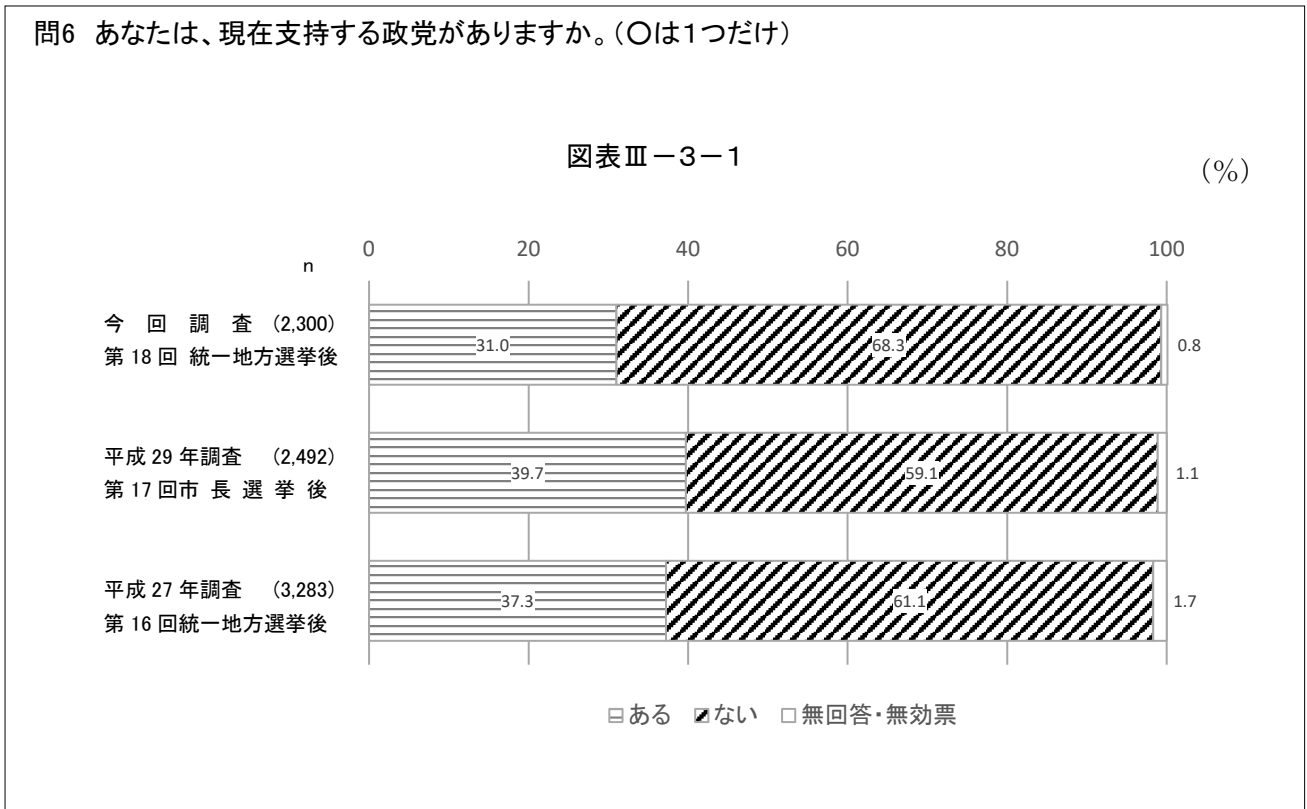


(%)

3 支持政党

◇ 支持政党が「ある」人は 31.0%

問6 あなたは、現在支持する政党がありますか。(○は1つだけ)



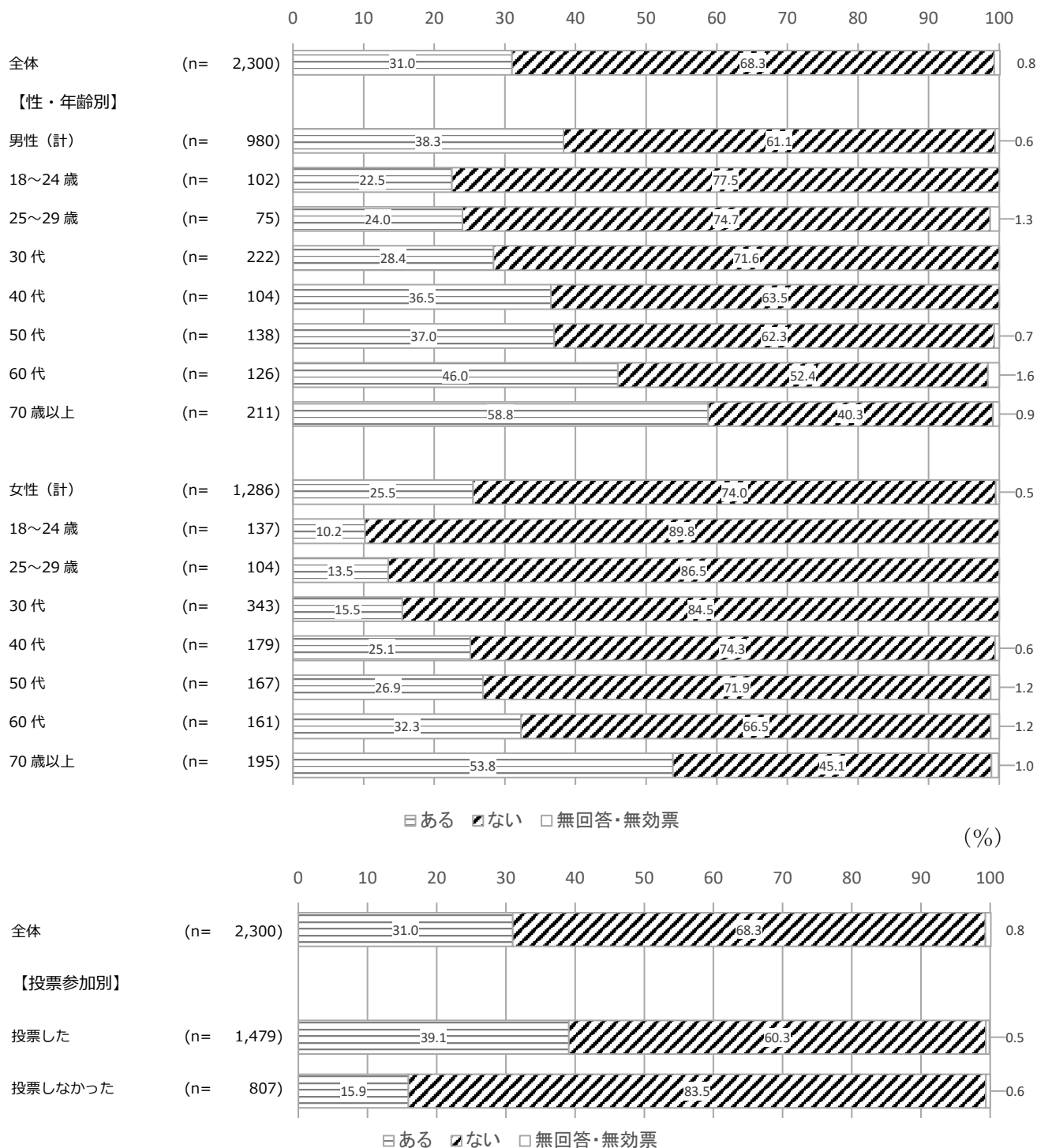
支持政党の有無を聞いたところ、「ある」が31.0%、「ない」が68.3%となっている。

平成29年調査（第17回市長選挙後）と比較すると、「ある」（31.0%）は、前回（39.7%）より8.7ポイント減少している。（図Ⅲ-3-1）

性・年齢別にみると、「ある」は男性（計）（38.3%）の方が、女性（計）（25.5%）より12.8ポイント高く、また男女ともおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、男女ともに70歳以上で5割を超えている。（図表Ⅲ-3-2）

投票参加別にみると、「ある」は投票した人（39.1%）の方が、投票しなかった人（15.9%）より23.2ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-3-2）

図表Ⅲ-3-2 支持政党の有無（性・年齢別、投票参加別） (%)

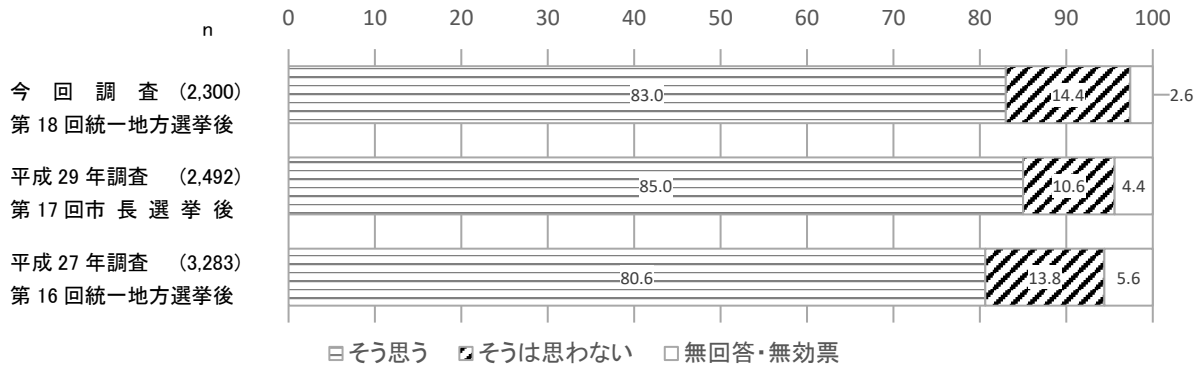


4 政治・選挙意識

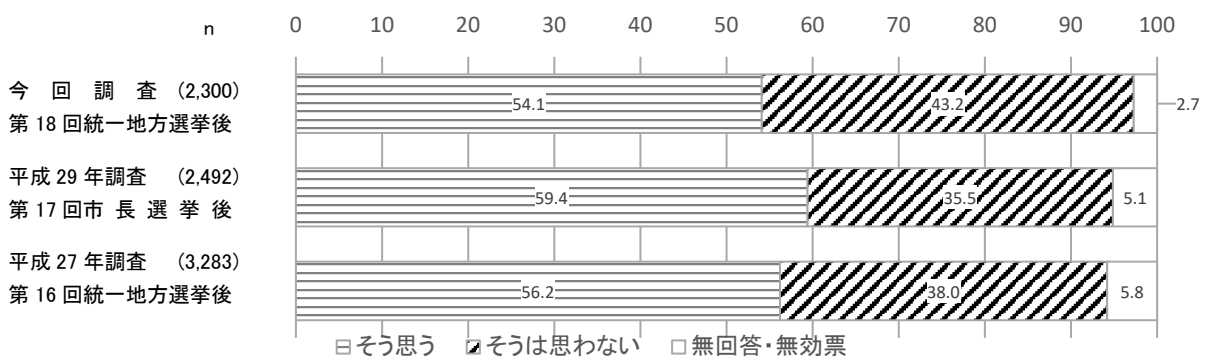
問7 政治や選挙について、次のような意見があります。(1)から(4)までのそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

図表Ⅲ-4-1

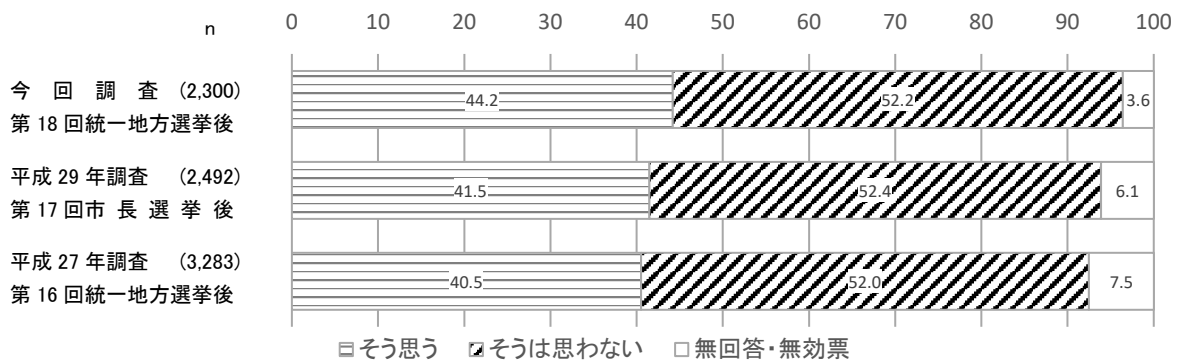
(1) 政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ (%)



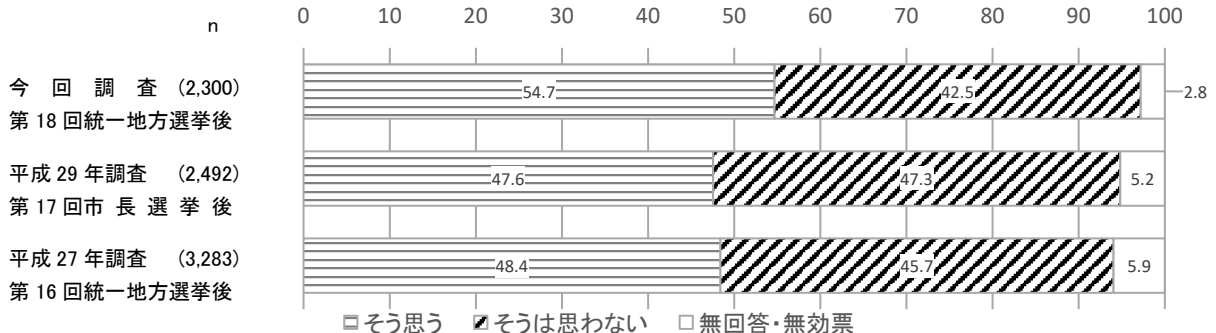
(2) 選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる (%)



(3) 投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない (%)



(4) われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない (%)



政治・選挙に関する4つの意見について聞いた。

(1) 政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ

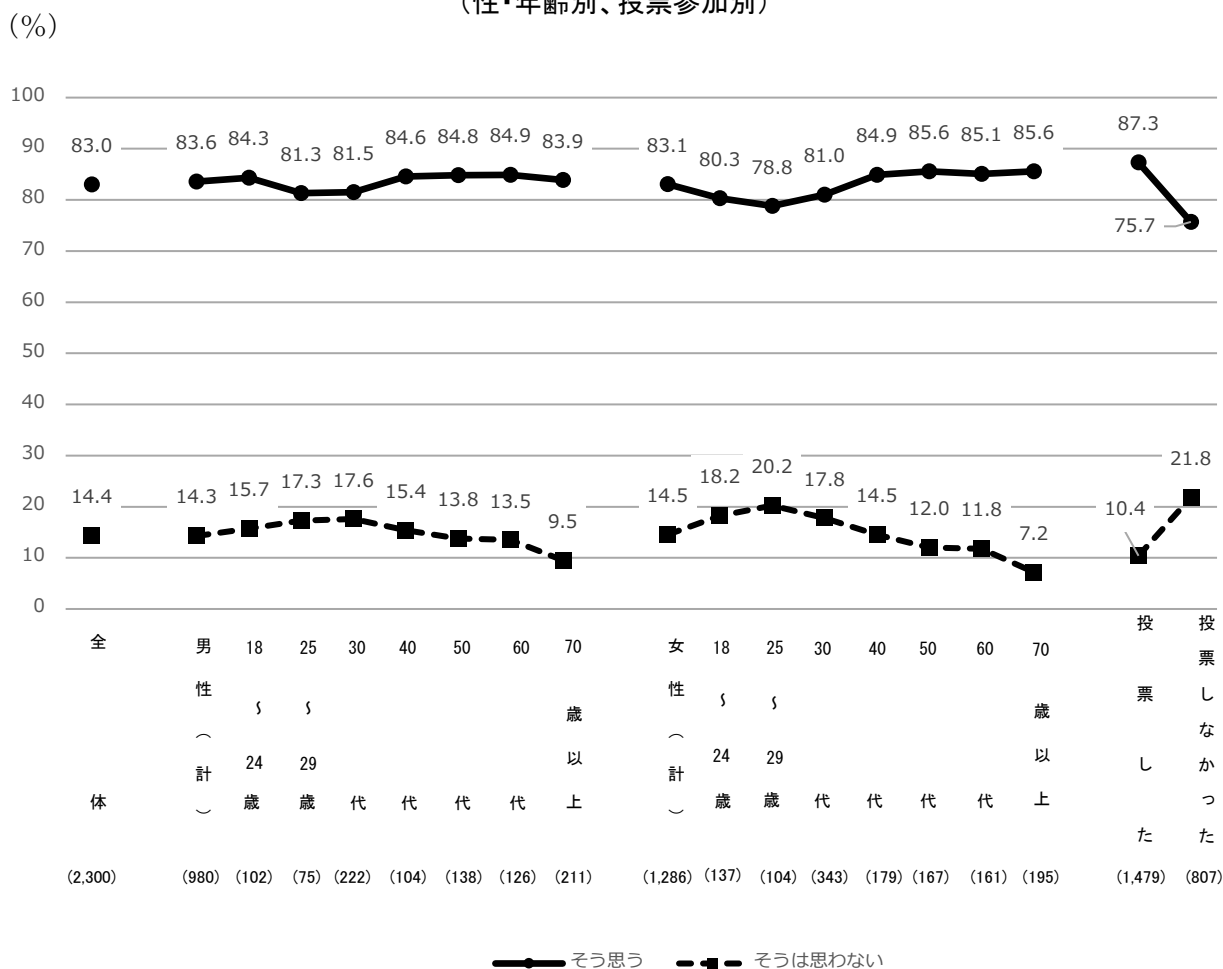
「そう思う」が83.0%、「そうは思わない」が14.4%になっている。

平成29年調査（第17回 市長選挙後）及び平成27年調査（第16回 統一地方選挙後）と比較すると、平成27年調査から2.4ポイント増加しているが、平成29年調査からは2.0ポイント減少している。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そう思う」は、男性25～29歳が81.3%、女性25～29歳が78.8%、と他と比べて低くなっており、不同意率「そうは思わない」は、70歳以上で男性（9.5%）、女性（7.2%）と男女ともに他の年代と比較して低くなっている。（図表Ⅲ-4-2）

投票参加別にみると、「そう思う」は、投票した人（87.3%）の方が投票しなかった人（75.7%）より、11.6ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-4-2）

図表Ⅲ-4-2 「政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ」
（性・年齢別、投票参加別）



(2) 選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる

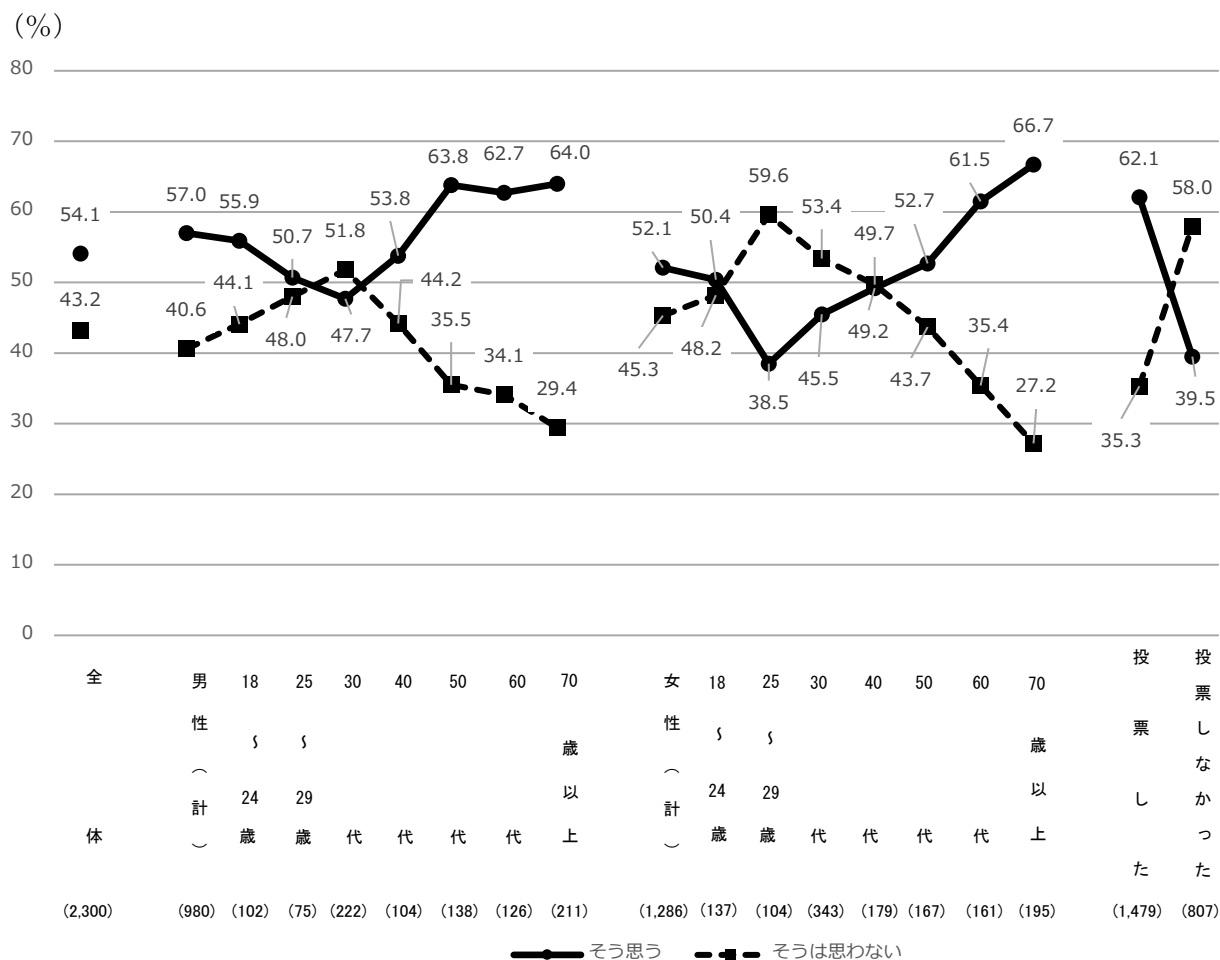
「そう思う」が54.1%、「そうは思わない」が43.2%になっている。

平成29年調査（第17回 市長選挙後）と比較すると、「そう思う」（54.1%）が前回（59.4%）より5.3ポイント減少している。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そう思う」は、男性30代（47.7%）・女性25～29歳（38.5%）で最も低くなっており、男性70代（64.0%）、女性70代（66.7%）で最も高くなっている。また、男性18～24歳が55.9%、女性18～24歳が50.4%となっており、いずれも50歳以上の年代に次いで高い。「そうは思わない」は、男性30代（51.8%）、女性25～29歳（59.6%）で最も高くなっている。（図表Ⅲ-4-3）

投票参加別にみると、「そう思う」は、投票した人（62.1%）の方が投票しなかった人（39.5%）より、22.6ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-4-3）

図表Ⅲ-4-3 「選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる」
（性・年齢別、投票参加別）



(3) 投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない

「そう思う」が44.2%、「そうは思わない」が52.2%になっている。

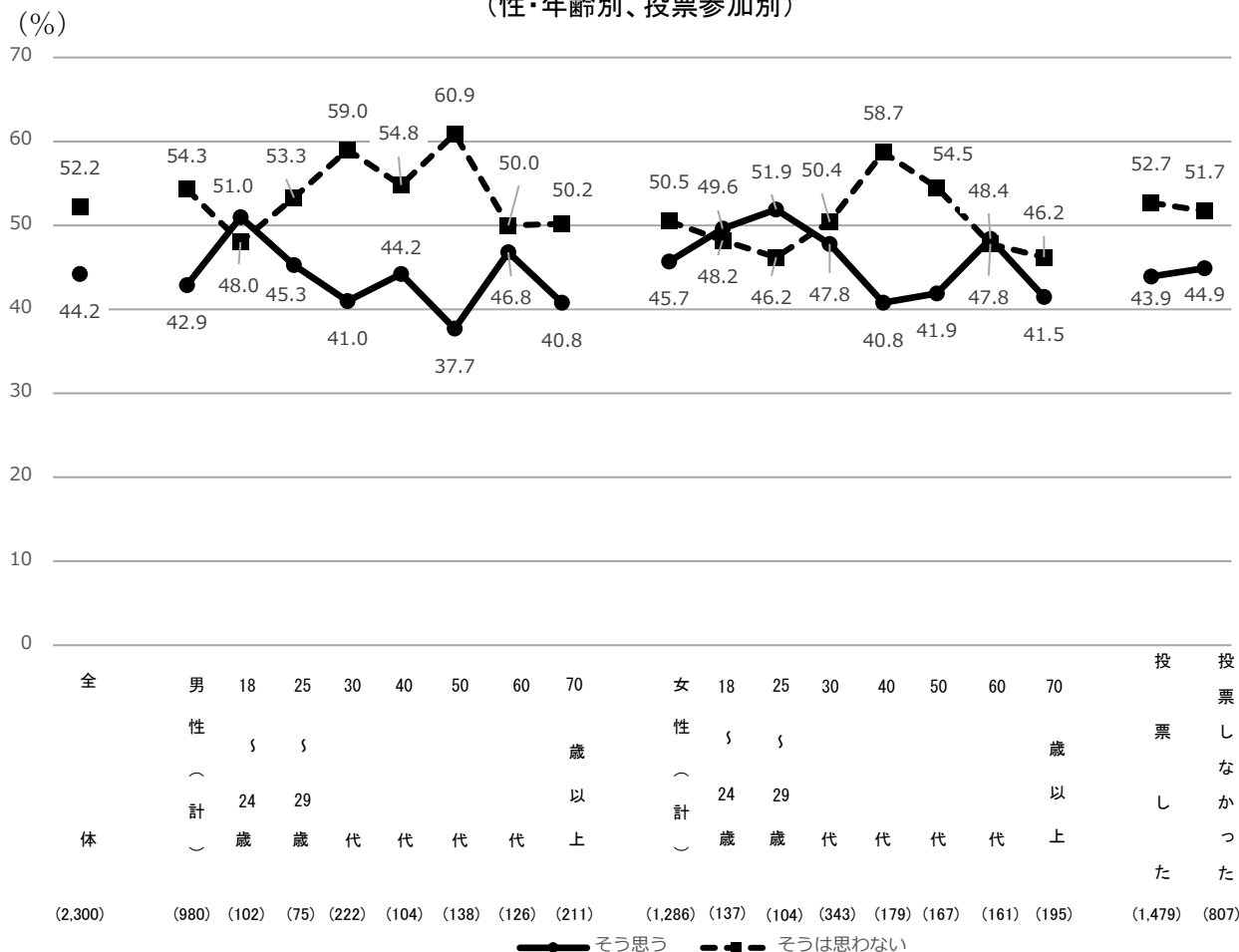
平成29年調査（第17回 市長選挙後）及び平成27年調査（第16回 統一地方選挙後）と比較すると、「そう思う」の割合が高くなっている。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、男性18～24歳及び女性18～24歳、25～29歳、60代では「そう思う」の割合が「そうは思わない」の割合を上回っている。（図表Ⅲ-4-4）

投票参加別にみると、「そう思う」は、投票した人（43.9%）の方が投票しなかった人（44.9%）より、1.0ポイント低くなっている。（図表Ⅲ-4-4）

図表Ⅲ-4-4 「投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない」

（性・年齢別、投票参加別）



(4) われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない

「そう思う」が54.7%、「そうは思わない」が42.5%になっている。

平成29年調査（第17回 市長選挙後）及び平成27年調査（第16回 統一地方選挙後）と比較すると、「そう思う」の割合が高くなっている。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、男性では大きな差は見られないが、女性では「そう思う」（59.2%）が「そうは思わない」（38.3%）より20.9ポイント高くなっている。また、そう思うの割合は男性・女性ともに25～29歳で最も高くなっている。（図表Ⅲ-4-5）

投票参加別にみると、「そうは思わない」は、「投票した」（50.6%）が「投票しなかった」（27.9%）より22.7ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-4-5）

図表Ⅲ-4-5 「われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない」

（性・年齢別、投票参加別）

